

# 文部科学省提出資料

令和4年2月1日

末松 信介 文部科学大臣

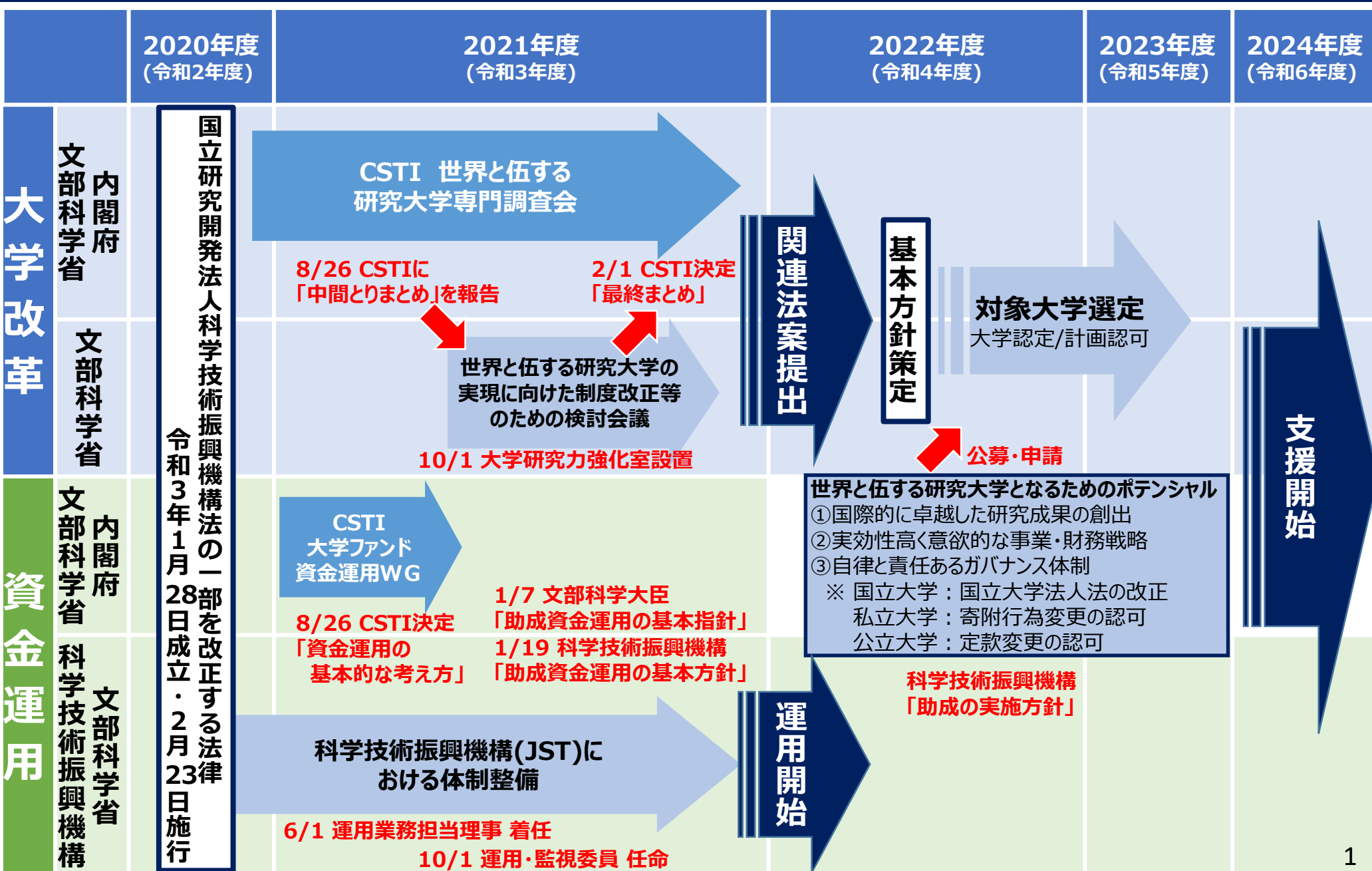


文部科学省

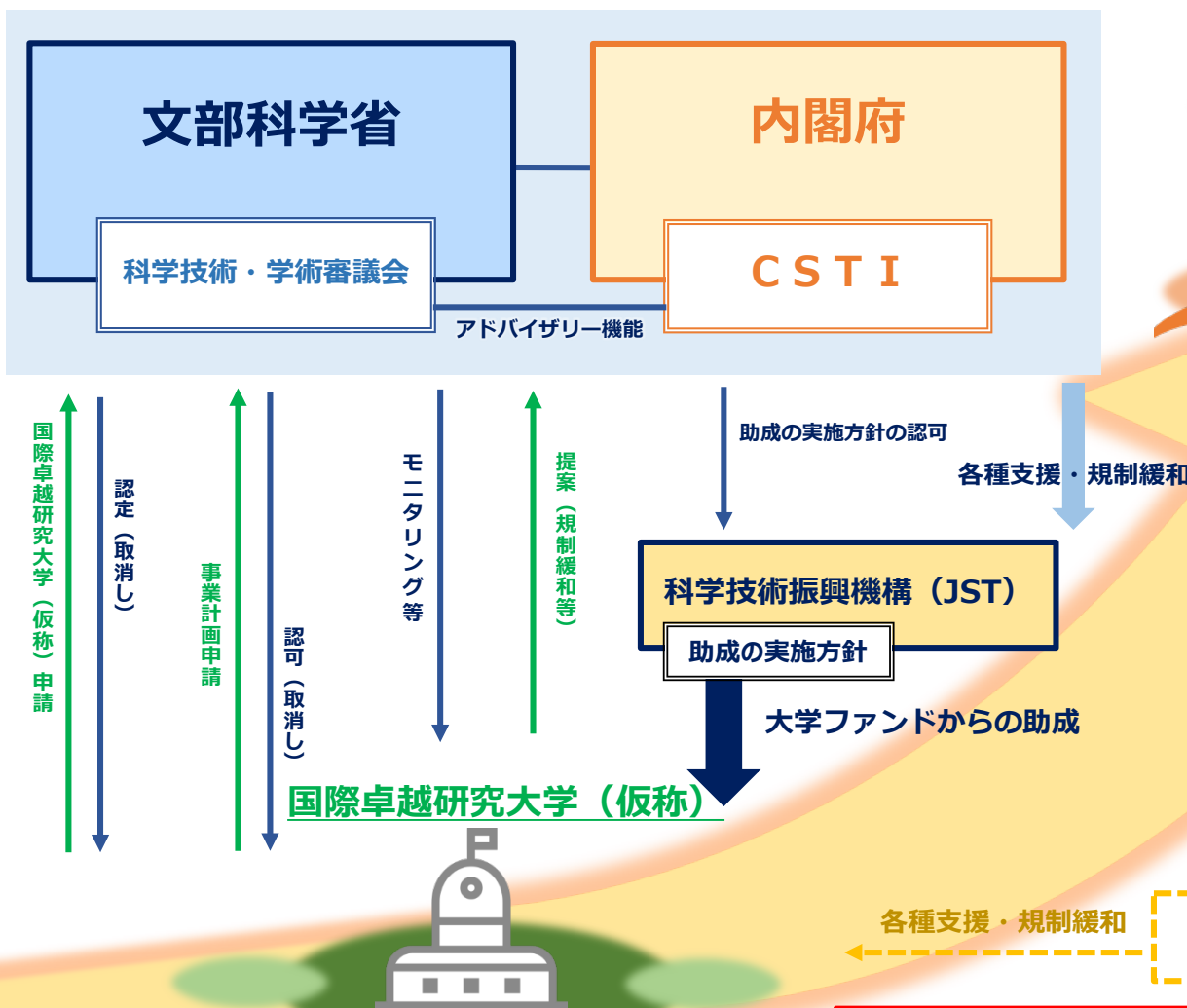
MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 大学ファンド創設に関するこれまでの進捗と今後のスケジュール



# 国際卓越研究大学制度（仮称）の全体像（イメージ）



- 世界最高水準の教育研究活動による **新たな知・イノベーション創出の中核**
- 多様な財源の確保等を通じた **強固な財務基盤**
- 成長を可能とする **高度なガバナンス体制**
- **潤沢な大学独自基金（Endowment）**

各種支援・規制緩和

関係行政機関・関係独法

～世界と伍する研究大学となるためのポテンシャル～

- 国際的に卓越した **研究成果の創出（研究力）**
- 実効性高く意欲的な **事業・財務戦略（3%成長）**
- 自律と責任ある **ガバナンス体制（合議体）**

## ～基本方針～

国際卓越研究大学制度（仮称）の意義及び目標、認定等に関する基本的な事項  
JSTの助成の実施方針に関する基本的な事項  
科学技術・イノベーション政策との連携に関する基本的な事項 など

# 地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ（文部科学省における検討）

- パッケージ作成を機に、地域の中核となる大学や特色ある研究大学には、「事業を立てた、あとは大学、手を挙げて」（大学に委ねる）スタイルから、大学と対話しながら、特色や強みを伸ばす取り組みを局課を超えて **きめ細かく伴走支援する政策実施スタイルに転換**
- 大学のミッションに基づく戦略的経営を実現、**大学が自ら変わることを促し、研究力の強化や地域の課題解決などに貢献するよう、**今後はR5要求も見据え、**さらに取り組みを加速させる仕掛けを検討**

## 現状・課題

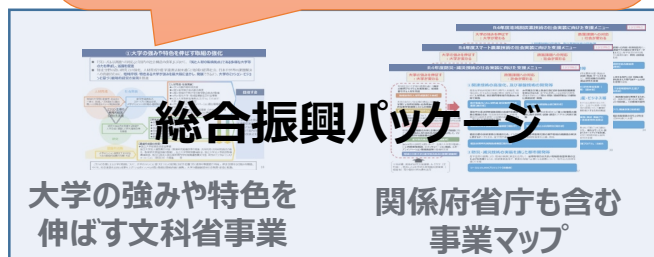
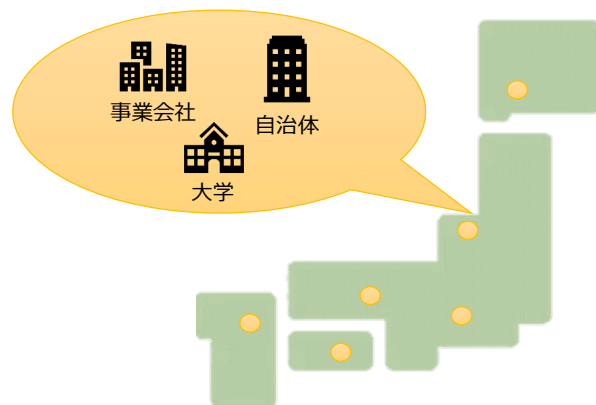
- 複数の省庁が地域の大学・企業・自治体などを対象とした施策を展開しているが大学目線で整理されていない
- 地域の中核大学や特定の強みを持つ大学が、複数存在するが、大都市圏や海外の大学に比べると限定的

### 【代表的な支援メニュー】

- 高度な研究拠点を作りたい。  
⇒世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)
- 産学官連携で研究開発・社会実装に取り組みたい。  
⇒共創の場形成支援
- 地域を牽引する人材を育成したい。  
⇒地域活性化人材育成事業（SPARC）

## 将来

- 大学や地方自治体、産業界を繋ぐ仕組みを強化。各府省とも連携して伴走支援
- 地域の中核大学や特定の強みを持つ大学が、強みや特色を伸ばす戦略的経営を展開し、日本各地で活躍



文科省内での連携体制を構築

伴走支援



地域の中核大学や特定の強みを持つ大学が、“特色ある強み”を十分に発揮し、日本各地で社会変革を牽引する取組を実施